

平成 3 1 年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中 学 校 (美 術)

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1 ページから 3 ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 下の の①～③の指示に従ってスケッチを描きなさい。

- ① 「つかむ」というテーマで、手（手首から先）を描きなさい。
- ② 左右どちらかの手のみを描き、その他の物は描かない。
- ③ 開始から10分後に合図をするので、描いている途中でも問題2に進む。問題2～5を解答し終えたら、再び戻って描いてもよい。

2 第3学年において、「思いを形に表そう」という自分の姿を粘土で表現する題材を設定した。このことについて、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

図1

(1) 導入において、生徒に自分なりの「考える」ポーズをとらせた後、図1の「考える人」と同じポーズをとらせ、比較する学習活動を行った。このことについて、次の①、②の問いに答えなさい。

- ① 図1「考える人」の作者名を書きなさい。
- ② この学習活動を通して感じ取らせたいことは何か。この後の学習活動「主題の設定」につなげることを踏まえ、書きなさい。

(2) 生徒Aは、下の のように主題を記述した。主題をより明確にさせるために、どのような手立てを行うとよいか、書きなさい。

バスケットボールの試合で、パスをしている自分の姿をつくりたい。

- (3) 板材の台座の上に針金を固定して心棒をつくり、心棒に麻ひもを巻くことにした。麻ひもを巻く理由を書きなさい。また、巻く際の指導上の留意点として安全面以外にどのようなことがあるか、具体的に書きなさい。
- (4) 心棒で形をつくり終えた段階で、互いの作品を鑑賞させる学習活動を設定した。このような学習活動をこの段階に設定した意図を書きなさい。
- (5) 粘土を付ける手順について、「あらづけ」という言葉を用いて説明しなさい。

- 3 第1学年において、身の回りのものを写した写真の被写体のみを切り取り、擬声語や擬態語などの文字をデザインして描き加え、イメージを伝える題材「文字でイメージを伝えよう」を設定した。後の(1)～(6)の問いに答えなさい。(図2は作品例)

図2 作品例



- (1) 下の は、ある書体について説明したものである。この書体の名称を書きなさい。

新聞や書籍、雑誌などの地の文で用いられることが多い。「うろこ」が特徴的である。

- (2) レタリングを学習する際の対象として「永」を用いることが多い。その理由を書きなさい。
- (3) 文字をデザインすることで、見る人に与える印象を際立たせる効果があることを捉えさせるため、題材の導入で、漫画のコマを教材として用いることとした。どのような学習活動が考えられるか、書きなさい。
- (4) 作品に用いる写真を選んだ後、文字のデザインをアイデアスケッチに表す活動を設定した。その際に、下のア～ウの参考作品をア→イ→ウの順で提示した。ウを最後に提示した理由を書きなさい。
- ア 文字の太さや文字の形を変形してデザインした参考作品
 - イ 単純化した具体物などを用いてデザインした参考作品
 - ウ 文字の大きさや配置を工夫してデザインした参考作品
- (5) アイデアスケッチを基に下描きをする際に、「文字を図案化したスケッチ」「被写体のみを切り取った写真」を準備し、台紙上に並べて画面構成を構想する活動を設定した。次の①、②の問いに答えなさい。
- ① この活動のよさは何か、書きなさい。
 - ② この活動では、画面構成を考える際に文字の大きさを変えることができない。このことを補う方法を1つ書きなさい。
- (6) 本題材は文字を無彩色で仕上げることとする。そのことで得られる学習効果を、制作時間の短縮以外で書きなさい。

- 4 第2学年において、図3の「風神雷神図屏風」を鑑賞する題材を、下の「主な学習活動」に示す通り設定した。このことについて、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

図3

<主な学習活動>

- 活動1 作品から、感じ取ったことなどを話し合う。
活動2 生徒一人一人が、作品を印刷した教材を屏風と同じ形になるように折り曲げ、表情やしぐさ、構図などから鑑賞し、感じ取ったことをワークシートに記述する。
活動3 ワークシートの記述を基に、感じ取ったことなどを話し合う。
活動4 神や仏などを表現したものは、制作当時の人々の願いや思いが反映されていることを知り、作者の表現意図を話し合う。
活動5 作品を見て感じ取ったことや考えたことを、作者になりきってワークシートに記述し、ペアで伝え合う。

- (1) 図3の「風神雷神図屏風」に影響を受け、同様のモチーフ、構図で「風神雷神図屏風」を描いた、「八橋蒔絵螺鈿硯箱」の作者の姓名を漢字で書きなさい。
- (2) 活動2の下線部aについて、屏風を真上から見た場合の正しい折り曲げ方を、解答用紙に線で示しなさい。
- (3) 活動2の下線部aを取り入れて鑑賞させることでどのような学習効果が期待されるか、下線部aを取り入れない場合との違いが分かるように書きなさい。
- (4) 活動4の下線部bを取り入れる意図を書きなさい。
- (5) 活動5の下線部cを行わせる意図を書きなさい。

- 5 第1学年において、木の板を主な材料として用い、伝えたい内容を形や色で表す題材「学校の案内表示をデザインしよう」を設定した。画面構成を考える際に提示する参考作品を、下の□の①～③の指示に従って描きなさい。必要に応じて、表現意図についての解説を書きなさい。

- ① 音楽室の案内表示を、見た人に分かりやすく伝えるデザインとして表すこと。
② 外形は自由とし、モチーフの一つとして、ピアノの鍵盤を用いること。
③ 文字は「音楽」のみを入れること。

美術 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号		氏名	
---------	---------	------	--	----	--

(3 1 年)

1			
2	(1)	①	
		②	
	(2)		
	(3)	[理 由]	
		[留 意 点]	
(4)			
(5)			
3	(1)	(2)	
	(3)		

美術 解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
---------	-------	------	--	----	--

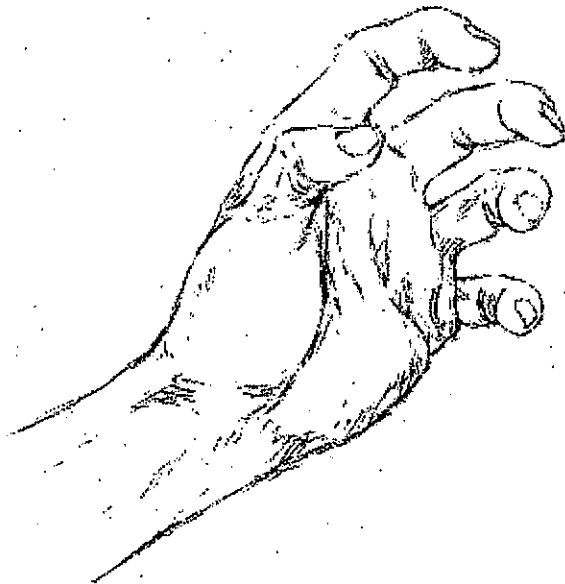
(31年)

3	(4)				
	(5)	①		②	
	(6)				
4	(1)				
	(2)	(正面)			
	(3)				
	(4)				
	(5)				
5	[参考作品]	[解説] (必要に応じて記述)			

以下はあくまでも解答の一例です。

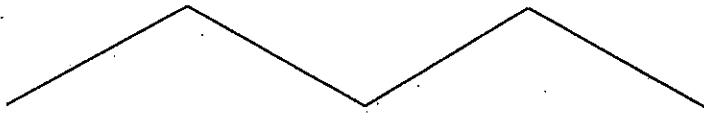
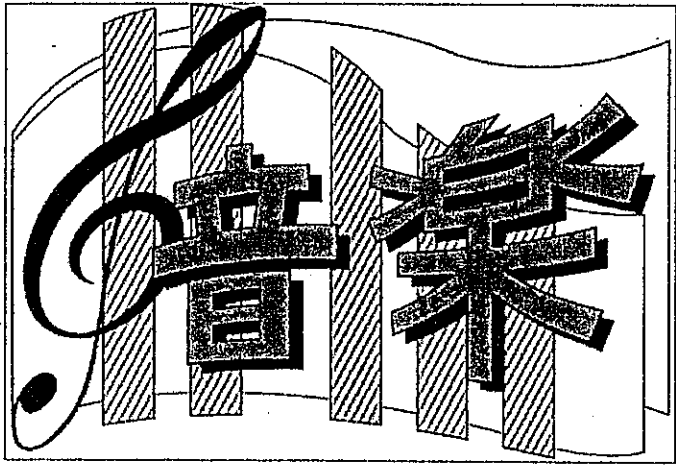
美術 解答用紙	2 枚中の 1	受験 番号	氏 名	
---------	---------	----------	--------	--

(3 1 年)

1	【例】			(1 0 点)	
2	(1)	①	ロダン (オーギュスト・ロダン)	(3 点)	
		②	真剣に考えている様子を表そうとした作者の思い。 など	(5 点)	
	(2)	パスをしているポーズをとらせ、そのときの思いを問いかけることにより、主題を明確にさせる。 など			(5 点)
	(3)	<p>〔理由〕</p> <p>心棒に粘土をつけやすくするため。 など</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>〔留意点〕</p> <p>きつく巻いて、粘土をつけやすくする。 など</p>			(5 点)
	(4)	形の修正が容易な段階で、主題に迫れているかを確認させるため。 など			(5 点)
	(5)	まず、心棒全体に粘土をしっかり「あらづけ」する。そのあと、全体と部分の関係に気を付けながら細部をつくる。 など			(5 点)
3	(1)	明朝体	(2)	「永」には、漢字を構成する基本的な点画が多く含まれているため。 など	
		(3 点)		(3 点)	
	(3)	擬声語や擬態語が描き込まれた複数の作品を用意し、「力強さ」「やさしさ」「軽い感じ」といった視点で分類させ、擬声語や擬態語の効果や印象の違いについて話し合わせる。 など			(5 点)

美術 解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名
---------	-------	------	----

(31年)

3	(4)	アとイは文字そのもののデザインに関わる資料、ウは画面構成に関わる資料である。文字そのもののデザインをイメージしてから画面構成について考える方が具体的にイメージできるため、ウを最後に提示する。 など (5点)	
	(5)	① 台紙上で配置を操作し、効果を確かめながら試行錯誤し、全体の画面構成を考えられること。 など (5点)	② 様々な大きさをコピーしたものを準備する。 など (5点)
	(6)	色彩の印象でなく、文字の形や配置を工夫することにじっくり向き合い、形の工夫を深く考えることができること。 など (5点)	
4	(1)	尾形光琳 (3点)	
	(2)	 <p>(正面) (3点)</p>	
	(3)	風神と雷神が向かい合う関係になるため、風神と雷神の目線や配置などから、風神と雷神、二神の関係について自分なりの解釈で見ることが期待される。 など (5点)	
	(4)	作品が描かれた背景などについての知識を活用し、作品に対する見方や感じ方を深めることができる。 など (5点)	
	(5)	話し合ったことを基に、作者の表現意図について主体的に考えられるようにするため。 など (5点)	
5	【参考作品】 【例】		
		【解説】(必要に応じて記述) 【例】 ・文字とモチーフを重ねてまとまりのあるデザインにした。 ・ピアノの形や鍵盤を単純化して表した。など	(10点)